CPRM/VR モード対応

コンパクト DVD プレーヤ

品番 **DVP-08**

取扱説明書

∞ このたびは弊社製品をお買い上げいただき、 ありがとうございます。

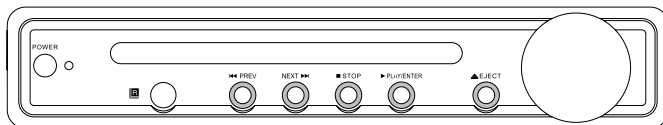
∞ ご使用の前に、 この取扱説明書をよくお読みのうえ、 正しくお使いください。

∞ 保証書は必ず [販売店名・購入日] の記入を確かめ、 販売店からお受け取りください。

もくじ

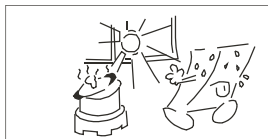
セット内容の確認

本機には下記の付属品が同梱されております。 開封時には必ずこれらの有無をご確認ください。
セット内容の変更に伴い、 付属品の種類は変更になる場合があります。 予めご了承ください。

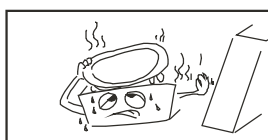
DVD プレーヤ本体 (1)

リモコン (1)　AV ケーブル (1)　取扱説明書 (1)

本機の設置場所について

本機は日本国内の摂氏 5 度～ 35 度までの温度で正常に作動するように設計されています。
これらの温度を下回る、 あるいは上回る環境で使用すると故障や誤作動の原因になります。
下記に挙げる環境下においては決して本機をご使用にならないでください。

・ 磁気を生じる場所
・ 振動の起きる場所

・ ストーブなどの近く
・ 直射日光の当たる場所

・ 水や水蒸気のある場所
・ 雨や水のかかる屋外

・ 不安定な場所

・ 通気を妨げる場所

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、 財産への損害を未然に防止するため、 必ずお守りいただくことを、 次のように説明しています。

■表示内容を無視して、 誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度、 次の表示で区分して説明しています。

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただきたい内容の種類を次の絵表示で区分して説明しています。
(下記は絵表示の一例です)

このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

このような絵表示は、 してはいけない「禁止」内容です。

このような絵表示は、 必ず実行していただく「強制」内容です。

電源コードやプラグを傷つけない

無理な折り曲げ、 ねじり、 加熱、 加工、 重量物の下敷きなどは電源コードの皮膜の破損、 芯線のむき出しの原因となり、 ショートや絶縁不良による火災や感電につながります。

●プラグを抜くときは根本を持ち、 まっすぐ抜いてください。

●修理は販売店にご相談ください。

異常が発生したときは電源を切り、 電源プラグを抜く

そのまま使うと、 ショートや絶縁不良で発熱し、 火災や感電の原因になります。
下記の症状の場合は絶対に正しく処置してください。
○煙が出る ○異常に熱い ○異常なにおいや音がする ○内部に水や異物が混入した。

分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があります。 分解や改造は、 火災・感電・故障の原因になります。

●修理・調整は販売店にご依頼ください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

AC100V(50/60Hz)の電源電圧で使用する

日本国内専用です。 それ以外の電源電圧で使用すると火災・感電・故障の原因になります。

●タコ足配線などの場合も、 加電流で発熱し、 火災・故障の原因になります。

電源プラグは根元まで差し込む

不完全な差し込みは発熱による火災・感電の原因になります。
●傷んだプラグは使用しないでください。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れない

落雷すると誘電により感電の原因になります。

水をかけたり濡らしたりしない

内部に水が入ると、 ショートや絶縁不良で発熱し、 火災・感電・故障の原因になります。

●内部に水が入った場合は、 使用を停止し、 販売店にご相談ください。

注意

不安定な場所や振動する場所に置かない

本機が落下し、ケガや故障の原因になります。

●本機の上にものを置いたり乗ったりしないでください。

風通しの悪いところや狭い場所に置かない

内部に熱がこもり、高温になると機器が変形したり、発熱· 火災・感電の原因になります。

●設置の際は壁から 10cm 以上離してください。

直射日光のあたる場所や温度が高い場所に置かない

機器表面の部品が劣化・変形し、内部回路に悪影響が生じることでショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電の原因になります。

●ストーブの近くなどもご注意ください。

油煙や湯気、湿気、ほこりが多い場所に置かない

本機内部や端子部に水やほこりが入り、内部回路に悪影響が生じることでショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電の原因になります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

ほこりの堆積によりショートし、火災・感電・故障の原因になります。

●プラグは時々点検してください。

移動する場合は電源を切り、コード類を全て外す

接続した状態で移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因になります。また、機器が落下し、ケガの原因になります。

本機の上にものを置いたり、乗ったりしない

転倒や落下などによりケガの原因になります、また、重量で筐体が変形し、放熱効果の悪化や内部回路に悪影響が生じることでショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電の原因になります。

●特に小さなお子様にはご注意ください。

コイン型電池に関するご注意

⚠警告

コイン型電池は、 幼児の手の届く場所に置かない

コイン型電池をお子様やペットが飲み込んだりすると、 中毒の原因になります。 もし、 お子様やペットが飲み込んだ場合は医師に相談してください。

電池から漏れた液には触れない

液漏れが発生し、 液が手や衣服に付着したときは、 水でよく洗い流してください。
目に入ったときは、 失明の恐れがあります。 目をこすらずに、 すぐにキレイな水で洗い流してください。 その後、 迅速に医師にご相談ください。

⚠注意

電池は極性表示（＋／－）を確かめ正しく入れる

極性を間違えると、 液漏れ・発熱・発火・破裂などを引き起こし、 ケガの原因になります。

充電式電池や指定以外の電池は使用しない

指定外の電池を使用すると、液漏れ･発熱･発火･破裂などを引き起こし、ケガの原因になります。

電池を加熱・分解したり、 火や水の中へ入れない

液漏れ・発熱・発火・破裂などを引き起こし、 ケガの原因になります。

電池の電極部（＋／－）に金属物を接触させない

電池がショートし、 液漏れ・発熱・発火・破裂などを引き起こし、 ケガの原因になります。

●コイン型電池を保管・携帯するときは、 ポリ袋などに入れてください。

●廃棄する場合は電極部にビニールテープなどを貼ってください。

ディスク使用上のご注意

⚠警告

レーザに注意

本機で使われているレーザ光が目にあたると危険ですので、 レンズを直接真上から見ないでください。 視力障害の原因になります。

クラス 1 レーザ製品について
本機は、 レーザシステムと CLASS 1 LASER PRODUCT を内蔵しています。 弱いレーザ光のため、 人体に大きな影響はありませんが、 レーザ光線による視力低下を防ぐために、 絶対に本機を分解しないでください。

ディスクホルダ（トレイ）は必ず閉じておく

本機には精密レンズが内蔵されています。 この部分にほこりが付かないよう、 ディスクホルダ（トレイ）は必ず閉じてください。

●レンズに手を触れないでください。

●金属などの異物を入れないでください

ディスクの挿入口に手を入れない

閉まるときにはさまれてケガの原因になることがあります。 特にお子様にはご注意ください。

結露（露つき）現象について

■結露（露つき）とは
冬季など、 暖房のきいた部屋の窓ガラスに水滴が付くことがあります。
このような現象を結露（露つき）と申します。

■結露（露つき）が発生する状況
・暖房を始めた直後の部屋に移動させたとき
・湿度の高い場所に持ち込んだとき
・冷たい場所から、 急に暖かい場所に持ち込んだとき
・エアコンのそばなど、 冷風が直接当たる場所で使用するとき

■結露（露つき）が生じた場合
・正常なディスクの読み取りができず、 プレーヤが正しく動作しないことがあります。
・電源を入れ、 20 ～ 30 分待ってからご使用ください。

ディスクについて

■リージョン番号について

リージョン番号とは発売地域別に DVD ビデオソフトと再生機器に割り当てられた番号です。
本機は「2」（および「2」を含むもの）と「ALL」が表示された DVD ビデオの再生が可能です。

■再生できるディスク

DVD	DVD ビデオ、DVD+R、DVD-R、DVD+RW、DVD-RW
CD	ビデオ CD、CD(CD-DA)、CD-R、CD-RW、HDCD、SVCD

■データディスク

・MP3 ファイル、WMA ファイル、MPEG ファイル、JPEG ファイルを記録したディスク (CD-R/RW など) の再生に対応しています。

ご注意

・MP3 は ISO9660 に準拠したディスクでないと再生できません。
・MP3 及びピクチャー CD のフォルダ名やファイル名の日本語表示はできません。またファイル名入力の方法によっては文字化けする場合があります。
・記録方式や記録状態によって再生できないことがあります。

■ DVD VR モード /CPRM ディスクの再生について

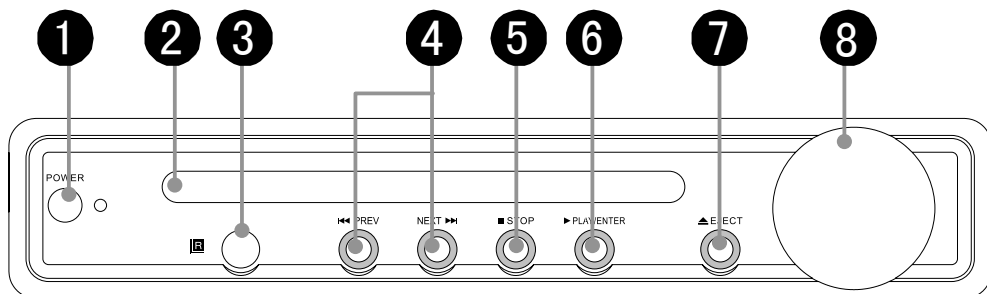
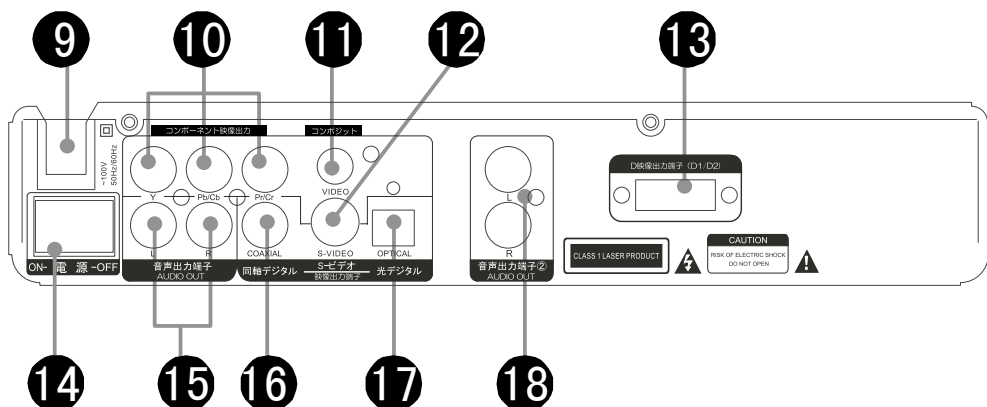
・本機は DVD レコーダの VR モードで録画された DVR-R/RW ディスクの再生に対応しています
・録画には専用の CPRM 対応ディスク及びレコーダーをご使用ください。
・CPRM 非対応のディスク及びレコーダーでは録画できません。使用機器の取扱説明書をご確認ください。

■ DVD レコーダーでの記録について

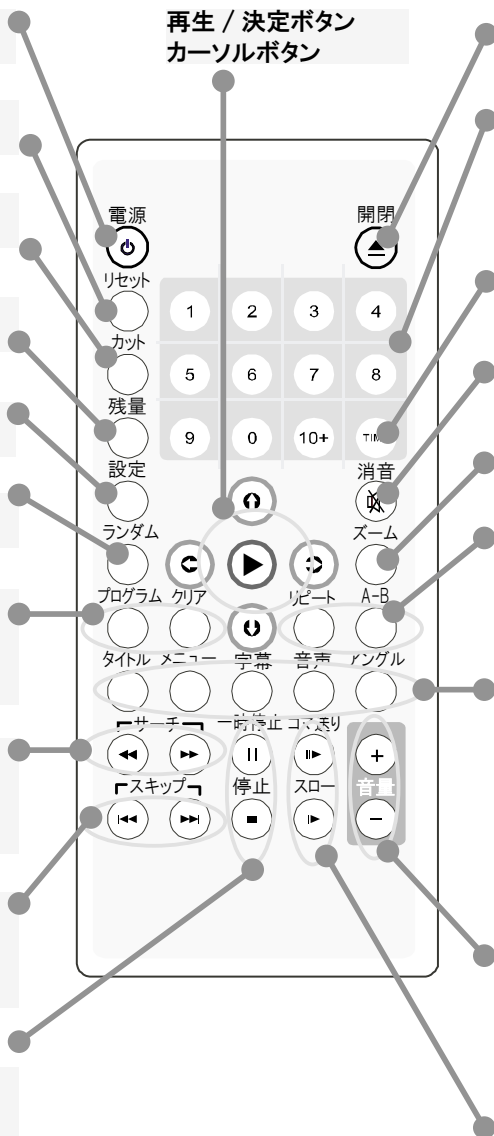
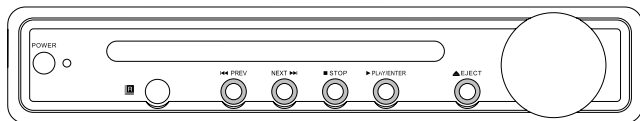
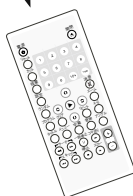
・DVD レコーダや PC で作成したディスクは、録画したレコーダーで必ずファイナライズ処理を行ってください。処理を行わないと本機で正しく再生できません。
・DVD レコーダ等で作成したディスクは録画モードやディスク特性、レコーダーの構造などの諸条件などが重なり、再生に時間がかかる場合がありますが故障ではありません。

■ご注意

・DVD アイコンが添付されているディスクでも、DVD-Audio、DVD-RAM、DVD-ROM、CD-ROM、その他本機がサポートしていない形式のディスクは再生できません。
・DVD ± R/RW や CD-R/RW ディスクでも記録方式や状態により再生できないことがあります。
・CD-DA 規格に準拠していない CD(コピーコントロール CD 等は、動作等の保障ができません。
・本機はすべてのディスクに対して再生互換の保障がされているわけではありません。

各部のなまえ（ 本体 ）

① スタンバイボタン [STANDBY]
② ディスクトレイ
③ 赤外線受光部
④ スキップボタン [PREV/NEXT]
⑤ 停止ボタン [STOP]
⑥ 再生 / 決定ボタン [PLAY/ENTER]
⑦ ディスク取り出しボタン [EJECT]
⑧ ディスプレイ

⑨ 電源コード [AC100V]
⑩ コンポーネント映像出力端子
⑪ コンポジット映像出力端子 [VIDEO]
⑫ S 映像出力端子 [S-VIDEO]
⑬ D1/D2 映像出力端子
⑭ 主電源スイッチ [POWER]
⑮ アナログ音声出力端子 [AUDIO OUT]
⑯ 同軸デジタル音声出力端子 [COAXIAL]
⑰ 光デジタル音声出力端子 [OPTICAL]
⑱ アナログ音声出力端子

各部のなまえ（リモコン）

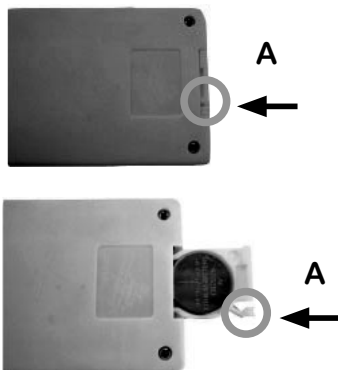
電源ボタン
(P16)
再生 / 決定ボタン
カーソルボタン
開閉ボタン
(P16)
リセットボタン
(P17、23)
数字ボタン
(P19、21)
ショートカットボタン
(P17)
タイムサーチボタン
(P21)
残量表示ボタン
(P20)
消音ボタン
(P17)
設定ボタン
(P23)
ズームボタン
(P21)
ランダム再生ボタン
(P18)
（左から）
リピートボタン
AB リピートボタン
(P19)
（左から）
プログラムボタン
クリアボタン
(P19)
（左から）
タイトルメニューボタン
ルートメニューボタン
字幕切替ボタン
音声切替ボタン
(P20)
アングル切替ボタン
(P21)
（左から）
早戻しボタン
早送りボタン
(P18)
（左から）
スキップ前ボタン
スキップ次ボタン
(P18)
（上から）
音量＋ボタン
音量－ボタン
(P17)
（上から）
一時停止ボタン
(P18)
停止ボタン
(P16)
（上から）
コマ送り再生ボタン
スロー再生ボタン
(P18)
電源
開閉
リセット
1
2
3
4
カット
5
6
7
8
残量
9
0
10+
設定
消音
ランダム
ズーム
プログラム
クリア
リピート
A-B
タイトル
メニュー
字幕
音声
アングル
サーチ
一時停止
コマ送り
スキップ
停止
スロー
音量

リモコン操作

リモコンで本機を操作する場合は赤外線受光部にリモコンを向けて操作してください。
リモコンの操作可能範囲はセンサーから 7m 以内です。

ご注意

・赤外線センサー受光部に強い光が当たるとリモコンが正しく作動しません。
・リモコンの電池が消耗すると正しく作動しません。
・本機のリモコンによって他機器が誤作動する場合は直ちにリモコンの使用を中止してください。

カード型リモコン用電池の交換方法

本機のリモコンでは CR2025 型電池（3V、直径 20mm、 厚さ 2.5mm）を使用します。
ご購入時は電池はリモコンにセットされています。 台紙を抜いてご使用ください。

CR2025 電池の交換方法

① リモコンを下図のように裏返します。
② 電池ホルダの（A）部分を押さえながら手前に抜きます。
③ 電池の ➕ 面を上にして電池を装着します。
④ 電池ホルダーを元のように収めます。

■リモコンの使用についてのご注意
・本書「電池に関するご注意」（P07）を必ずお読みください。
・付属の電池は動作確認用です。
・リモコンを落としたり、 強い衝撃を加えないでください。
・リモコンにお茶や珈琲をこぼさないでください。
・リモコンの文字表記は改良等により本書と異なる場合があります。

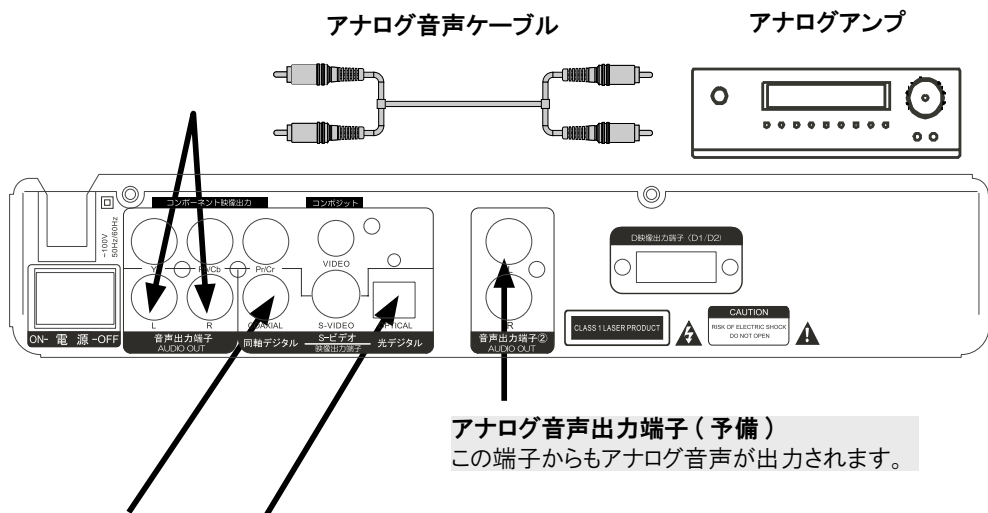
外部機器との接続

■アナログ接続で音声を再生する

●本機の音声を 2ch オーディオ機器で再生する場合の接続です。

●本機背面の音声出力端子を外部機器の音声入力端子と接続してください。

●本書「アナログ音声出力設定」(P26) も併せてお読みください。

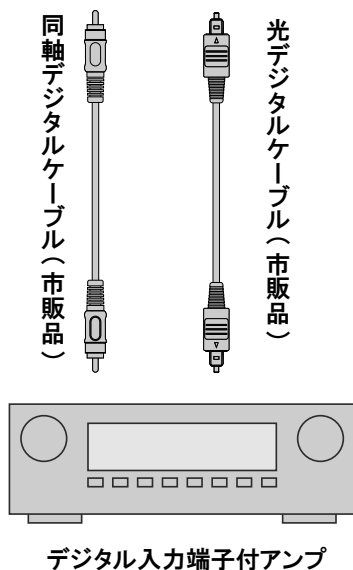
●設定を誤ると音声が正しく出力されません。

■デジタル接続で音声を再生する

● 5.1ch サラウンドサウンドを楽しむ場合は、 デジタル接続を行ってください。

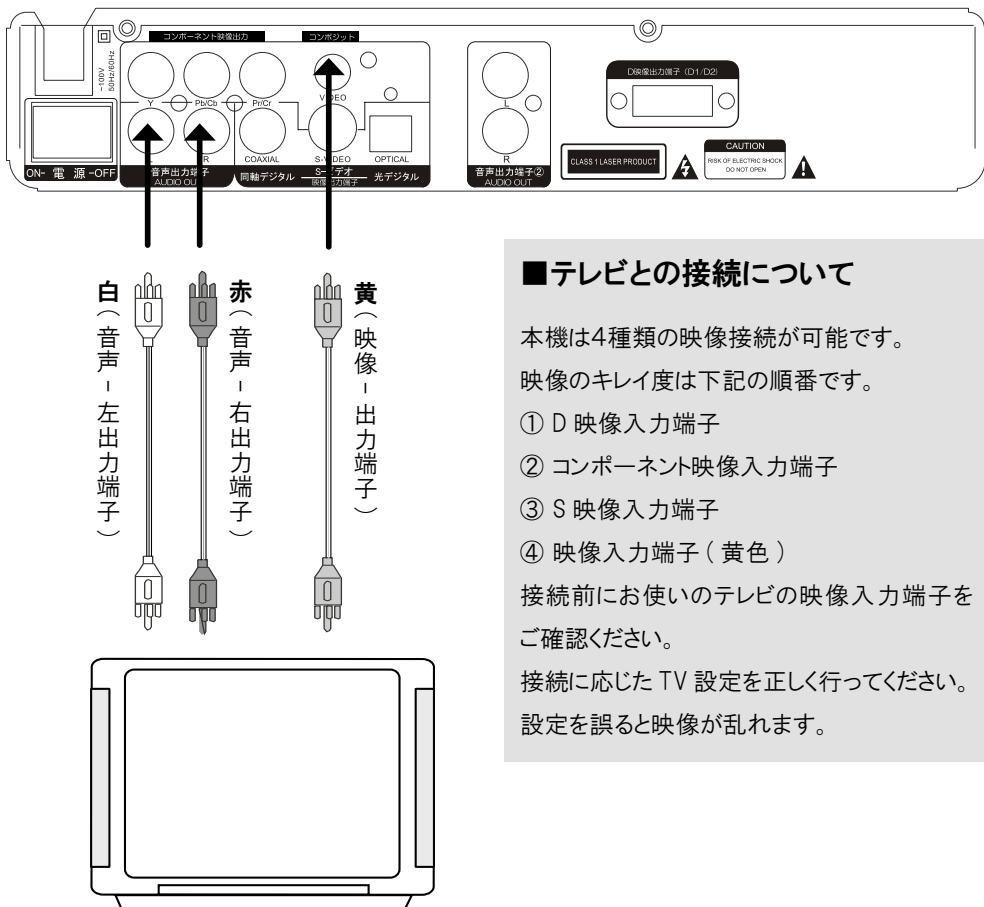
●デジタル接続には市販品の「光デジタルケーブル」または「同軸デジタルケーブル」が必要です。

●光デジタルケーブルは接続する機器の端子に合ったタイプを選択してください。 本機の光デジタル端子は「角型プラグ」です。

●「デジタル音声出力設定」(P26) および「ドルビーデジタル設定」(P27) も併せてお読みください。

●設定を誤ると正しく出力されません。

テレビとの接続

■映像(黄色)端子・音声入力端子付きテレビと接続する場合

本機の出力端子とテレビジョン側の入力端子の色を合せて正しく接続してください。

■テレビとの接続について

本機は4種類の映像接続が可能です。

映像のキレイ度は下記の順番です。

① D 映像入力端子

② コンポーネント映像入力端子

③ S 映像入力端子

④ 映像入力端子(黄色)

接続前にお使いのテレビの映像入力端子をご確認ください。

接続に応じた TV 設定を正しく行ってください。

設定を誤ると映像が乱れます。

■プログレッシブ対応テレビとの接続

本機はプログレッシブ再生対応テレビと接続することができます。

① 本機とテレビジョンの D 映像端子またはコンポーネント映像端子をそれぞれ接続します。

② 映像出力方式(P29)を「YUV」に設定します。

③ 走査方式(P29)を「プログレッシブ」に設定します。

■コンポーネント映像入力端子付きテレビと接続する場合

ハイビジョンテレビに接続する場合はコンポーネント映像ケーブル (市販品) で接続してください。
コンポーネント端子は色信号 (Pb/Cb、 Pr/Cr) と輝度信号 (Y) を分けて出力するため、 よりキレイな映像を楽しむことができます。

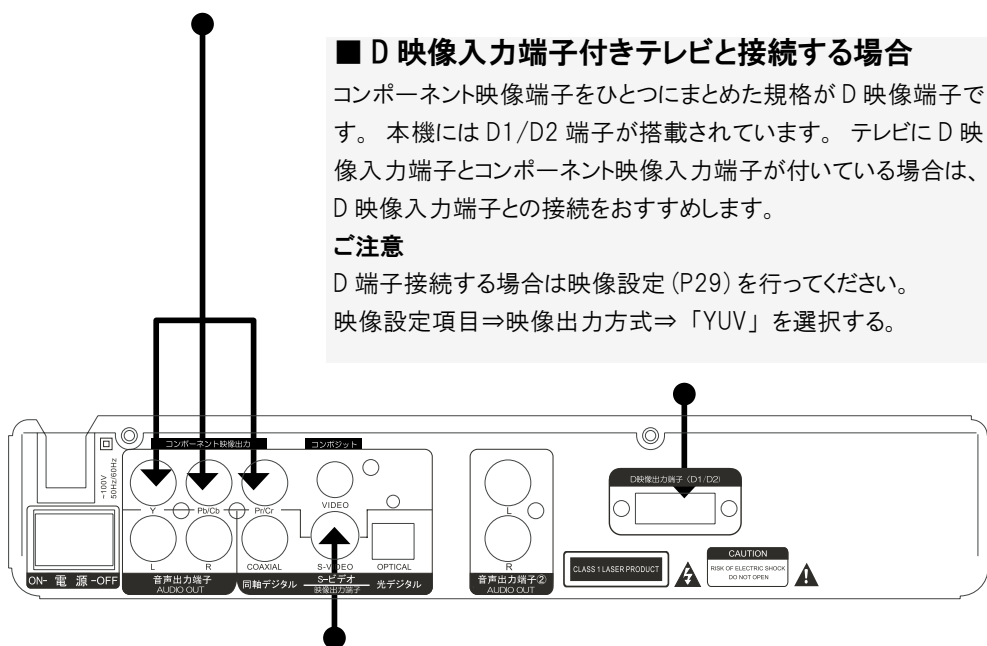
ご注意

接続の際はケーブルの色を正しく合わせて接続してください。
テレビによってはコンポーネント映像 (色差) の入力端子の切り換えが必要なものがあります。
詳しくはお使いのテレビの取扱説明書にしたがって操作してください。

■ D 映像入力端子付きテレビと接続する場合

コンポーネント映像端子をひとつにまとめた規格が D 映像端子です。 本機には D1/D2 端子が搭載されています。 テレビに D 映像入力端子とコンポーネント映像入力端子が付いている場合は、 D 映像入力端子との接続をおすすめします。

ご注意

D 端子接続する場合は映像設定 (P29) を行ってください。
映像設定項目⇒映像出力方式⇒「YUV」を選択する。

■ S 映像入力端子付きテレビと接続する場合

コネクタの上下の向きに注意して、 それぞれの S 映像入力端子を市販のケーブルを使って正しく接続してください。

放熱スペースについて

本機の側面と上面部には必ず 10cm 以上の放熱スペースを設けるように設置してください。
本機はご使用に伴い、 多少の熱を発生します。 熱がこもると故障や事故の原因になりますので、
通気性に留意し、 確実な放熱スペースを確保してください。

基本的な操作

■電源の ON と OFF

1 電源プラグをコンセントに差し込む。
2 本体背面の主電源スイッチを【ON】にする。
ディスクトレイが点灯 (青色) し、 本機が使用可能状態になります。

- スタンバイ状態にするには本体またはリモコンの「スタンバイ」ボタンを押します。
- 電源を完全に遮断にするには背面の主電源スイッチを「OFF」にしてください。
- 本機を長期間使用しない場合には電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ディスクのセット

1 本体の「EJECT」またはリモコンの「開閉」ボタン (⏏) を押してトレイを開く。
ディスクトレイに合わせてディスクを載せてください。
2 本体の「EJECT」またはリモコン「開閉」ボタン (⏏) を押してトレイを閉める。
CD や VCD は自動的に再生を開始します。
DVD の場合はメニュー画面が表示される場合があります。

■メニュー画面が表示された場合

1 カーソルボタン (⇧/⇩/⇦/⇨) を押して項目を選択する。
2「再生 / 決定」ボタン (▶) を押してメニュー内容を決定する。

■再生

「再生 / 決定」ボタン (▶) を押すと再生を開始します。

■停止

1 再生中に本体の「STOP」またはリモコンの「停止」ボタン (■) を押す。
停止ボタンを押すとリジューム再生状態になります。
2 再生を完全に停止するには再度、「停止」ボタン (■) を押す。

■リジューム再生機能

- 再生を停止すると本機は停止した箇所を記録します。
- 次に「再生 / 決定」ボタン (▶) を押すと、 先に停止した箇所から再生を開始します。

基本的な操作（つづき）

■音量の調節

- リモコンの「音量」ボタンを押して音量を調整します。
- 音量のレベルは「00」から「20」までの数値で変化します。

■消音機能

- リモコンの「消音」ボタンを押すと再生中の音声を一時的に消去します。
- 消音機能を解除するには再度、「消音」ボタンまたは「音量」ボタンを押します。

■ショートカット機能

一部の DVD ではディスクの読み込み後すぐに、リモコンの「ショートカット」ボタンを押すと、警告画面などをスキップして素早くタイトル画面を表示させせることができます。

≪ご注意≫

ディスクによっては機能しない場合があります。

■リセット機能

リモコンの「リセット」ボタンを押すと本機の設定を工場出荷時の設定（初期状態）に戻すことが可能です。設定が分からなくなった場合にご使用ください。

ご注意

トレイにディスクが入っていると機能しません。リセットする場合はディスクを抜いてください。

ポップノイズについて

トラックの切れ目やオーディオ機器の組み合わせにより、システムの電源を起動したときや操作を行った場合にスピーカからポップノイズ（ボッ音、プチ音）が発生する場合があります。
本機の電源を ON にした後で、外部機器の電源を ON にした場合などは特にノイズが入りやすくなります。モードボタンでサラウンドモードを切り換える時もノイズが発生しやすくなります。
いずれもポップノイズによる音響機器の動作や音質には支障ありません。

ディスクの再生に異常があるときの対処

下記の作業をお試しください。

現象が改善される場合があります。

1 ディスクを取り出してください。
2 主電源を [切] にしてください。
3 プラグを電源コンセントからはずします。
4 2 ～ 3 分お待ちください。
5 再度電源を [入] にしてください。

・エラーの生じたディスクをいったん排出して、別のディスクを挿入してください。
・別のディスクが再生できる場合、エラーの生じたディスクの不具合が考えられます。
・VR モード、CPRM 対応ディスクで録画したメディアでは、録画条件（レコーダ、ディスク特性）などによって再生までに時間がかかる場合があります。またファイナライズ処理は確実に行ってください。

便利な再生機能

■スキップ再生

1 再生中にリモコンの「スキップ」ボタン (|◀◀ または ▶▶|) を押す。
押した回数だけ押した方向にスキップを行います。

ご注意

音楽 CD の 1 曲目を再生中に (|◀◀) ボタンを押すと本機は停止状態になります。

■サーチ再生 (早戻し / 早送り)

1 再生中に「早戻 / 早送」ボタン (◀◀ または ▶▶) を押す。
ボタンを押すたびに再生速度が 2 倍、 4 倍、 8 倍、 16 倍、 32 倍に変化します。

2 再生を通常の速度に戻すには「再生 / 決定」ボタン (▶) を押す。

■一時停止

1 再生中にリモコンの「一時停止」ボタン (❚❚) を押す。
再生を一時停止します。

2 機能を解除するには再度、「一時停止」(❚❚) ボタンを押す。

■スロー再生

1 再生中にリモコンの「スロー再生」ボタン (|▶) を押す。
ボタンを押すたびに再生速度が順番に変化します。

2 再生を通常の速度に戻すには「再生 / 決定」ボタン (▶) を押す。

● スロー再生は DVD ディスクのみに機能します。

■コマ送り (ステップ) 再生

1 再生中にリモコンの「コマ送り」ボタン (||▶) を押す。
画面に ||▶ アイコンが現れ、 再生が一時停止状態になります。

2 「コマ送り」ボタンを押す。
ボタンを押すたびに画面がコマ送りされます。

3 再生を通常の速度に戻すには「再生 / 決定」ボタン (▶) を押す。

● コマ送り再生は DVD ディスクのみに機能します。

■ランダム再生

1 再生中にリモコンの「ランダム」ボタンを押す。
本機が自動的にランダム再生を開始します。
ランダム再生中は TV 画面に【Shuffle】表示が現れます。

2 機能を解除するには再度「ランダム」ボタンを押す。

便利な再生機能（つづき）

■リピート再生

1 再生中にリモコンの「リピート」ボタンを押す。
ボタンを押すたびにリピート方法がディスプレイに現れます。

CD/VCD	TRACK(1 曲)	ALL(全曲)	OFF(切)	
DVD	CHAPTER(チャプタ)	TITLE(タイトル)	ALL(全て)	OFF(切)

2 リピートボタンを押して、リピート方法を選択する。
機能を解除するには「リピート」ボタンを押して表示を消します。

■特定区間 (A-B) リピート再生

この機能は任意に指定した特定区間を連続再生する機能です。

1 区間リピート再生の開始位置 (A 地点) でリモコンの「リピート AB」ボタンを押す。
TV 画面に【A】表示が現れます。

2 リピート再生の終了位置 (B 地点) でリモコンの「リピート AB」ボタンを押す。
TV 画面に【AB】表示が現れ、区間リピート再生を開始します。

3 機能を解除するには再度、「リピート AB」ボタンを押す。

■プログラム再生

DVD に収録されたチャプターや CD や VCD に収録されたトラックを 20 プログラムまで再生することができます。

1 リモコンの「プログラム」ボタンを押す。
TV 画面にプログラムメニューが表示されます。

2「数字」ボタンを押してプログラム番号を入力する。

3 プログラムを終了したら「カーソル」ボタンを押して TV 画面下の【START】を選択する。

4「再生 / 決定」ボタンを押す。
本機が自動的にプログラム再生を開始します。

DVD のプログラム画面

■数字の設定方法について (例)
「15」を入力する場合は、
「10+」と「5」を押す。
「36」を入力する場合は、
「10+」を 3 回押し「6」を押す。

■数字を訂正する場合
「クリア」ボタンを押す。

■プログラム再生の解除

1「プログラム」ボタンを押す。
プログラムメニューを表示させます。

2「カーソル」ボタンを使い、【STOP】を選択する。

便利な表示機能

■ DVD メニュー表示

再生中に「タイトル」ボタンを押すと、 ディスクに収録されているタイトルメニュー画面を表示することができます。
「メニュー」ボタンを押すと、 ディスクのルートメニューを表示することができます。
それぞれのメニュー画面が表示されたら、「カーソル」ボタンを押して項目を選択します。
続けて「再生 / 決定」ボタン（▶）を押すと選択した項目に移動します。

ご注意

この操作は複数のタイトルメニューおよびサブメニューが収録されているディスクのみに機能します。
メニューが記録されていないディスクでは操作できません。
ディスクによっては「数字」ボタンを使用する場合など、 操作が異なる場合があります。
「メニュー」ボタンでタイトルメニューが表示されるディスクもあります。

■ PBC 機能

本機は PBC(プレイバックコントロール) 機能つきビデオ CD(バージョン 2.0) に対応しています。
PBC 対応ディスクではメニュー画面がディスプレイ上に表示されますので操作しやすくなります。
PBC 機能の ON/OFF は「メニュー」ボタンを押して切り換えます。

■音声言語の変更

再生中に「音声切替」ボタンを押すと、 初期設定で選択した言語を他の言語に変えることができます。
CD や VCD では音声チャンネル (LEFT MONO/RIGHT MONO/MIX-MONO/STEREO) を切り替えることが可能です。
吹き替え音声の収録された DVD などを楽しむときに使用します。

ご注意

この操作は複数の音声言語が記録されているディスクのみに機能します。

■字幕言語の変更

再生中にリモコンの「字幕」ボタンを押すと、 初期設定で選択した字幕言語を他の言語に切り替えることが可能です。

ご注意

この操作は複数の字幕言語が記録されているディスクのみに機能します。

■残量時間表示

再生中に「残量表示」ボタンを押すと、トラックやチャプター再生時の経過時間や時間残量を表示することが可能です。

便利な表示機能（つづき）

■ズーム機能

DVD 再生中に「ズーム」ボタンを押すことで、 画面サイズを 2 倍、 3 倍、 4 倍に変更することができます。

「ズーム」ボタンを押すたびに倍率が変化します。

カーソルボタン (↑/↓/←/→) を押すことでズーム箇所の移動が可能です。

■アングル機能

複数のアングルが記録されたディスクでは再生中に「アングル」ボタンを押すことで記録されたアングルを切り替えることが可能です。

「アングル」ボタンを押すたびにディスクに記録されたアングル表示番号が切り替わります。

ご注意

この機能は複数のアングルが記録された DVD ディスクのみに機能します。

■タイムサーチ機能

DVD または CD の指定した経過時間位置からの再生を開始します。

チャプター番号を直接選択して再生することも可能です。

1 DVD ディスク再生中に「サーチ (TIME)」ボタンを押す。

ディスク情報が TV 画面に表示されます。

ボタンを押すたびに表示が切り換わります。

「XX」は総タイトル番号や収録チャプター番号です。 ディスクによって異なります。

「--」部分に数値を入力します。

DVD の場合

TITLE XX/XX CHAPTER --/XX	チャプター番号を指定します。
TITLE XX/XX TIME -/--/--	経過時間位置を指定します。
CHAPTER : XX/XX TIME -/--/--	チャプター番号とチャプター内経過時間を指定します。

CD/VCD の場合

DISC GO TO --/-- (DISC 時間)	ディスク内の時間を指定します。
TRACK GO TO --/-- (TRACK 時間)	トラック内の時間を指定します。
SELECT TRACK --/XX (TRACK 選択)	トラック番号を直接指定します。

2 時間を指定する場合は数字ボタンを押す。

左から順に、「時間 / 分 / 秒」を入力します。

自動的に指定箇所に移動します。

数字を訂正するには「クリア」ボタンを押します。

データファイルの再生

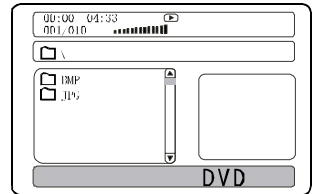
■ MP3/WMA ファイルの再生

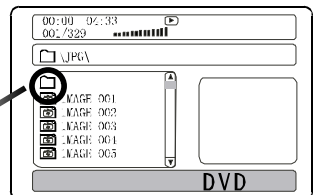
ファイルが記録されたディスクを挿入するとディスプレイにナビ画面が表示され、 自動的にディスク内に収録されたファイルの再生を開始します。

⚠ MP3 ファイル再生に関するご注意

●本機とパソコンでは表示順序や再生順序が異なる場合があります。
●記録方式によっては再生できない場合があります。

■フォルダを選択して再生する

1 再生中に「プログラム」ボタンを押す。
　ナビ画面が切り替わります。(右図)
2 カーソルボタン (↑/↓/) を押し、 再生したいフォルダ (ファイル) を選択する。
3 「再生 / 決定」ボタン (▶) を押す。
　選択したフォルダ (ファイル) の再生を開始します。

ひとつ上の階層に移動する

1 上部のフォルダアイコン (右図) を選択する。
2 「再生 / 決定」ボタン (▶) を押す。
　ナビ画面が切り替わります。

■写真ファイル (JPEG) の再生

1 JPEG ファイルが記録されたディスクを挿入する。
　ディスプレイにナビ画面が表示され、 自動的に画像再生を開始します。
　「メニュー」 ボタンを押すとナビ画面に戻ります。
2 カーソルボタン (↑/↓) を押して再生したいファイルを選択する。
3 「再生 / 決定」ボタン (▶) を押す。
　選択したファイルからスライドショーを開始します。

ご注意

JPEG 以外の静止画 (TIFF など) や音声付画像 (Motion JPEG) は再生できません。

■写真ファイル再生の機能

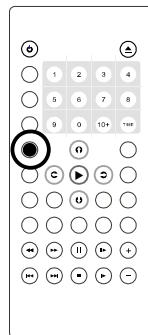
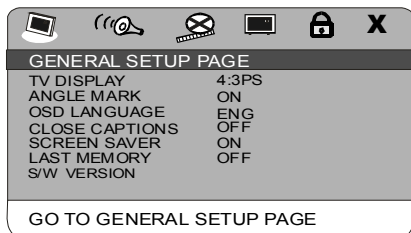
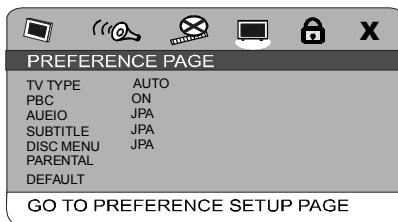
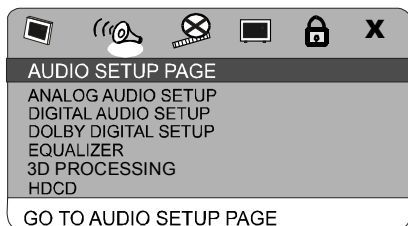
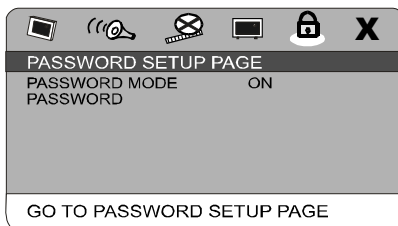
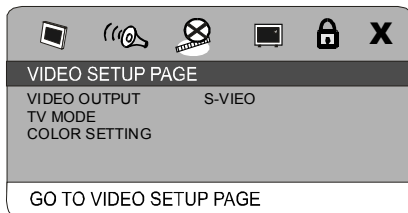
機能	使用ボタン
画像一覧表示	停止 [■] ボタン
再生一時停止	一時停止 [❚❚] ボタン
右 90 度回転	カーソル [→] ボタン
左 90 度回転	カーソル [←] ボタン

機能	使用ボタン
スキップ	[|◀◀/▶▶|] ボタン
ズーム	[ズーム] ボタン
ズーム倍率調整	[◀◀/▶▶] ボタン

システム設定について

「システム設定」には TV 画面サイズ設定やデジタル音声出力設定など、 本機をより活用していただくための各種設定項目があります。 ご使用環境に応じて正しく設定してください。
各設定項目についてはそれぞれのページをご覧ください。
●「設定」ボタンを押すとディスプレイに初期設定画面が表示されます。

■システム設定の方法

1 「設定」ボタンを押す。
初期設定画面が表示されます。
2 カーソルボタン (⇧/⇩/⇦/⇨) を押す。
ハイライト表示が各項目を移動します。
3 項目の決定には「再生 / 決定」ボタン (▶) を押す。
4 設定を終了するには「設定」ボタンを押す。

■一般設定 [GENARAL SETUP]

■環境設定 [PREFERENCE SETUP]

■音声設定 [AUDIO SETUP]

■パスワード設定 [PASSWORD SETUP]

■映像設定 [VIDEO SETUP]

設定を初期状態に戻すには

リモコンの「リセット」ボタンを押すと工場出荷時の状態に戻ります。
トレイにディスクが入っている場合はトレイからディスクを抜いてください。

システム設定項目

システム設定項目は下記のように分かれています。

<table>
<tr><td rowspan="7">一般設定</td><td>TV 画面</td><td colspan="2"></td><td rowspan="7">P25</td></tr>
<tr><td>アングルマーク</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>画面表示言語</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>キャプション</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>スクリーンセーバー</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>ラストメモリ</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>製品情報</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="17">音声設定</td><td rowspan="2">アナログ音声出力</td><td colspan="2">ダウンミックス</td><td rowspan="4">P26</td></tr>
<tr><td colspan="2">ダイアログ調整</td></tr>
<tr><td rowspan="2">デジタル音声出力</td><td colspan="2">デジタル出力</td></tr>
<tr><td colspan="2">LPCM 出力</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ドルビーデジタル</td><td colspan="2">デュアルモノ</td><td rowspan="6">P27</td></tr>
<tr><td colspan="2">ダイナミックレンジ圧縮</td></tr>
<tr><td rowspan="4">イコライザ</td><td colspan="2">サウンドモード</td></tr>
<tr><td colspan="2">低音増幅 (BASS BOOST)</td></tr>
<tr><td colspan="2">重低音 (SUPER BASS)</td></tr>
<tr><td colspan="2">高音増幅 (TREBLE BOOST)</td></tr>
<tr><td rowspan="6">サラウンド</td><td rowspan="5">プロロジックⅡ</td><td>PRO LOGIC Ⅱ</td><td rowspan="7">P28</td></tr>
<tr><td>PL2 モード</td></tr>
<tr><td>パノラマ</td></tr>
<tr><td>ディメンション</td></tr>
<tr><td>センター幅</td></tr>
<tr><td colspan="2">残響音</td></tr>
<tr><td>HDCD</td><td colspan="2">デジタルフィルター</td></tr>
<tr><td rowspan="8">映像設定</td><td>映像出力方式</td><td colspan="2"></td><td rowspan="8">P29</td></tr>
<tr><td>走査方式 (プログレッシブ)</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="6">画質</td><td colspan="2">鮮明度 (SHARPNESS)</td></tr>
<tr><td colspan="2">明度 (BRIGHTNESS)</td></tr>
<tr><td colspan="2">コントラスト (CONTRAST)</td></tr>
<tr><td colspan="2">ガンマ (GAMMA)</td></tr>
<tr><td colspan="2">色度 (HUE)</td></tr>
<tr><td colspan="2">彩度 (SATURATION)</td></tr>
<tr><td rowspan="7">環境設定</td><td>TV 方式</td><td colspan="2"></td><td rowspan="5">P30</td></tr>
<tr><td>PBC</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>音声言語</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>字幕言語</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>メニュー言語</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>視聴制限</td><td colspan="2"></td><td>P31</td></tr>
<tr><td>初期化</td><td colspan="2"></td><td>P30</td></tr>
<tr><td rowspan="2">パスワード設定</td><td>パスワードモード</td><td colspan="2"></td><td rowspan="2">P31</td></tr>
<tr><td>パスワード変更</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

一般設定［GENARAL SETUP］

■ TV 画面サイズ [TV DISPLAY]

ご使用になるテレビジョンの画面サイズに合せて設定します。

【4:3PS】 パンスキャン。 対応ディスクのみ。 ワイド画像は左右がカットされて映ります。

【4:3LB】 レターボックス。 4:3 サイズのテレビにワイド画像を全画面表示します。

【16:9 ワイド】 ワイドテレビサイズ。 ワイドテレビと接続する場合に選択します。

■アングルマーク [ANGLE MARK]

この機能は複数のアングルを収録したディスクのみに作動します。

【入】 アングルマークを表示します。

【切】 機能をオフにします。

■画面表示言語 [OSD LANGUAGE]

画面に表示する言語を選択します。

【ENGLISH】画面表示言語を英語で表示します。

【日本語】 画面表示言語を日本語で表示します。

■キャプション [CLOSE CAPTION]

クローズドキャプションを収録したディスクの再生時に機能します。

【入】 クローズドキャプションを表示します

【切】 機能をオフにします。

● 字幕とクローズドキャプションが画面上に重なって表示される場合は【切】を選択してください。

■スクリーンセーバー [SCREEN SAVER]

スクリーンを損傷から防ぐために、 画面が一定時間動かないときに表示されます。

【入】スクリーンセーバーを表示します

【切】機能をオフにします。

■ラストメモリ設定 [LAST MEMORY]

機能を【入】にするとディスクを交換しても中断箇所から再生することが可能です。

【入】機能をオンにします。

【切】機能をオフにします。

● 電源を切るとメモリはリセットされます。

■製品情報 [S/W VERSION]

現在の製品バージョン情報を表示しています。

音声設定［AUDIO SETUP］

アナログ音声出力設定［ANALOG AUDIO SETUP］

■ダウンミックス設定 [DOWNMIX]

ダウンミックスは多チャンネル信号を左と右の 2ch にミックスして出力します。

【LT/RT】サラウンドの右と左の信号はフロントにミックスされて出力されます。

【STEREO】サラウンドの右と左の信号はフロントの右と左それぞれに分離して出力されます。

■ダイアログ調整 [DIALOG VOLUME]

センターチャンネルの音量を上げて、 夜間でもセリフを聞き取りやすくする機能です

ダイアログ音量は 00 ～ 20 の間で設定します。

ご注意

ダイヤログ調整はドルビーデジタルで記録されたディスクに機能します。

アナログ音声出力のみに対応しています。

デジタル音声出力設定［DIGITAL AUDIO SETUP］

■デジタル出力設定 [DIGITAL OUTPUT]

デジタル音声出力端子を使って外部機器と接続する場合に設定します。

【デジタル出力切】デジタル出力しません。

【デジタル出力 (RAW)】マルチチャンネル (5.1) 対応アンプと接続する場合に選択します。

【デジタル出力 (PCM)】マルチチャンネル非対応アンプ (2ch) と接続する場合に選択します。

■ LPCM 音声出力設定 [LPCM OUTPUT]

リニア PCM(Linear Pulse Code Modulation) は音楽 CD や DVD ビデオで使用されている 48kHz/16bit ～ 96kHz/24bit のデジタル音声です。 通常の音楽 CD は 44.1kHz/16bit なのでより高音質の再生が可能です。 対応するアンプの性能に応じて選択してください。

【48K】ディスクの音声信号は 48kHz に変換されます。

【96K】サンプリング周波数 96kHz 対応アンプと接続する場合に選択します。

ご注意

この機能はデジタル音声出力設定を【デジタル出力 (PCM)】に設定した場合のみ機能します。

ドルビーデジタル設定［DOLBY DIGITAL SETUP］

■デュアルモノ設定 [DUAL MONO]

ドルビーデジタルのデュアルモノ方式で記録された DVD を再生する場合の音声出力方式を切り換えます。

【STEREO】ステレオで再生。

【L-Mono】左チャンネルのみを再生。

【R-Mono】右チャンネルのみを再生。

【Mix-Mono】左右の音声を混合して再生。

■ダイナミックレンジ [DYNAMIC]

音量を下げて映画などを楽しむ場合はダイナミックレンジの圧縮率を高めることで、 小さな音でもセリフが聞き取りやすくなります。

【FULL】ダイナミックレンジを最大圧縮します。

【OFF】機能を使用しません。

● ドルビーデジタル信号で記録された DVD の再生およびアナログ出力のみ機能します。

● 効果の少ないディスクもあります。

イコライザ設定［EQUALIZER］

■サウンドモード設定 [SOUND MODE]

お好みの音質を選択してください。

初期状態では【切】に設定されています。

【切】

【ロック】

【ポップ】

【ライブ】

【ダンス】

【テクノ】

【クラシック】

【ソフト】

■低音増幅機能 [BASS BOOST]

【入】機能をオンにします。

【切】機能をオフにします。

■重低音機能 [SUPER BASS]

【入】機能をオンにします。

【切】機能をオフにします。

■高音増幅機能 [TREBLE BOOST]

【入】機能をオンにします。

【切】機能をオフにします。

サラウンド設定［3D PROCESSING SETUP]

プロロジックⅡ設定項目 [PRO LOGIC Ⅱ]

■プロロジックⅡ [PRO LOGIC Ⅱ]

【入】PL2 機能をオンにします。

【切】PL2 機能をオフにします。

【自動】機能を自動で切り替えます。

■プロロジックⅡモード [PL2 MODE]

【MUSIC】音楽ソフトの再生に適しています。

【MOVIE】映画ソフトの再生に適しています。

【PRO LOGIC】エミュレーションモードで設定。

【自動】機能を自動で切り替えます。

■パノラマ設定 [PANORAMA]

プロロジックⅡ音楽モードで使用すれば、 前方の音場を横方向に広げることが可能です。

【入】機能をオンにします。

【切】機能をオフにします。

ご注意

プロロジックⅡ MUSIC モードのみで機能します。

■ディメンション [DIMENSION]

プロロジックⅡ音楽モードで使用すれば、 音場を前方に 3 段階、 後方に 3 段階に調整することができます。 サラウンドが強い場合は前方に調整します。 サラウンドの広がりが狭い場合は後方へ調整するようにします。

調整しない場合は「SIZE 0」に設定します。

ご注意

プロロジックⅡ MUSIC モードのみで機能します。

■センターウイズス (幅)[CENTER WIDTH]

センタースピーカーの音色がフロントスピーカーと異なったり、 音場に違和感がある場合、 センターチャンネルの信号をフロントスピーカーに調整しながら振り分ける機能です。

調整しない場合は「LEVEL 0」に設定します。

ご注意

プロロジックⅡ MUSIC モードのみで機能します。

■リバーブ (残響音) 機能

機能を ON にすると、 ホールや教会で演奏しているような残響効果を与えます。

【切】機能を使用しません。

【コンサート】CONCERT

【居間】LIVING ROOM

【ホール】HALL

【浴室】BATHROOM

【洞窟】CAVE

【競技場】ARENA

【教会】CHURCH

HDCD 設定

HDCD とは 88.2kHz/20bit で収録された音源を 44.1kHz/16bit の現行 CD の規格に収録する技術です。 HDCD フォーマットで記録された音楽情報は、 20bit の高い分解性能を持っております。

■デジタルフィルタ設定

【切】

【44.1K】

【88.2K】

映像設定 [VIDEO SETUP]

■映像出力方式 [VIDEO OUTPUT]

テレビとの接続方式に対応した機能を選択してください。
設定を誤ると画面が変色して映る場合があります。
コンポジット (黄色) 端子接続の場合は設定不要です。
【S-VIDEO】テレビの S 映像入力端子と接続する場合に選択します。
【YUV】テレビの D 映像入力端子と接続する場合に選択します。

■走査方式 [TV MODE]

テレビジョンの走査方式を切り換えます。 プログレッシブスキャン方式のテレビジョンと接続する場合はプログレッシブを選択します。
【プログレッシブ】PROGRESSIVE
【インターレース】INTERLACE
ご注意
映像出力信号設定で【S-VIDEO】を選択している場合は走査方式の設定はできません。

画質調整 [COLOR SETTING SETUP]

■鮮明度 [SHARPNESS]

【高】
【中】
【低】

■明度 [BRIGHTNESS]

カーソルボタン (◀/▶) で調整します。
「再生 / 決定」ボタン (▶) を押すと終了します。
設定範囲【－ 20】～【＋ 20】

■コントラスト [CONTRAST]

カーソルボタン (◀/▶) で調整します。
「再生 / 決定」ボタン (▶) を押すと終了します。
設定範囲【－ 16】～【＋ 16】

■ガンマ補正 [GAMMA]

【高】
【中】
【低】
【なし】

■色調 [HUE]

カーソルボタン (◀/▶) で調整します。
「再生 / 決定」ボタン (▶) を押すと終了します。
設定範囲【－ 09】～【＋ 09】

■彩度 [SATURATION]

カーソルボタン (◀/▶) で調整します。
「再生 / 決定」ボタン (▶) を押すと終了します。
設定範囲【－ 09】～【＋ 09】

環境設定［PREFERENCE SETUP］

ご注意

「環境設定」はトレイにディスクが入った状態では設定できません。 ディスクを取り出してください。

■ TV 方式設定 [TV TYPE]

【PAL】PAL 方式のテレビジョンと接続する場合に選択します。

【自動】PAL と NTSC の両方式対応のテレビジョンと接続する場合に選択します。

【NTSC】日本のテレビジョン方式は NTSC です。

■ PBC 設定

本機は PBC 機能付き VCD の再生に対応しています。

PBC 対応ディスクではメニュー画面がディスプレイに表示されますので操作しやすくなります。

【入】

【切】

ご注意

VCD 再生時、本機のいくつかの機能は PBC 設定が【入】の場合、正常に動作しないことがあります。

その際には機能を【切】に設定してください。

■音声言語設定 [AUDIO]

吹き替え音声など DVD の音声を選択します。

選択項目は右表を参照してください。

■字幕言語設定 [SUBTITLE]

字幕の言語を選択します。

選択項目は右表を参照してください。

■メニュー言語設定 [DISC MENU]

ディスクメニューの言語を選択します。

選択項目は右表を参照してください。

選択項目 (言語)
【英語】
【フランス語】
【スペイン語】
【中国語】
【日本語】
【韓国語】
【ロシア語】
【その他】

■初期化 [DEFAILT]

【リセット】を選択して決定すると本機の設定をリセットし、 初期化します。

■視聴制限設定 [PARENTAL]

お子様に見せたくない場面が含まれたディスクの再生を制限することが可能です。

視聴制限を切り換える場合は 6 桁のパスワードの入力が求められます。

【レベル 1】KID SAF[Kid Safe] 子ども向けソフトのみ再生可能。

【レベル 2】G[General Audience] 一般むけ。

【レベル 3】PG[Parental Guidance] 児童の鑑賞は保護者の判断が必要。

【レベル 4】PG13[Parental Guidance Under Age 13] 13 歳未満の鑑賞は保護者の指導が必要。

【レベル 5】PGR[Parental Guidance Restricted] 17 歳未満の鑑賞は両親の指導が必要。

【レベル 6】R[Restricted] 17 歳以下の青少年は親か成人の保護者同伴が必要。

【レベル 7】NC17[No Children Under Age 17] 17 歳以下は鑑賞禁止。

【レベル 8】ADULT すべてのソフトの再生が可能です。

● 設定を変更する場合にはパスワードを入力してください。

● 工場出荷時のパスワードは【138900】に設定されています。

パスワード設定 [PASSWORD SETUP]

■パスワードモード [PASSWORD MODE]

機能を【入】にすると「視聴制限」設定でパスワードの入力が求められます。

【入】機能をオンにします。

【切】機能をオフにします。

■パスワード変更 [PASSWORD]

【変更】を選択し決定するとパスワードを変更することができます。

3 つの項目が表示されますので、 それぞれ 4 桁の数字を入力します。

最後に【OK】を選択決定します。

1 旧パスワード [OLD PASSWORD]

2 新パスワード [NEW PASSWORD]

3 パスワード確認 [CONFIRM PASSWORD]

● 工場出荷状態のパスワードは【138900】に設定されています。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、 お問合わせの前にまずこのこのページで点検してみてください。
それでも動作しない場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

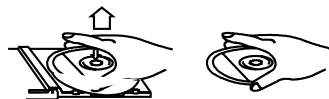
症状	確認事項と対策	掲載
電源が ON にならない	プラグがコンセントからはずれていませんか？	P16
本体が熱くなる	故障ではありません。	P15
映像が映らない	AV コードは正しく接続されていますか？ 接続やテレビ側の入力切替を確認してください。	P14
映像が乱れる	「映像出力信号設定」をご確認ください。 接続方法に応じた設定を行ってください。	P14
画面サイズがおかしい	「TV 画面サイズ設定」を確認してください。	P25
	ズーム再生している場合は機能を解除してください。	P21
映像が途中で止まる	片面 2 層ディスクは層の変わり目で、 映像や音声が一瞬停止することがあります。	
ブロック状ノイズが出る	本機からの映像をビデオデッキ経由で再生するとコピーガードの働きにより画像が乱れる場合があります。	
	本機の演算処理能力を超えるときにブロックノイズが発生する場合があります。 ブロックノイズは DVD の映像記録方式 (MPEG) の性質上、 完全に除去することは困難です。	
音が出ない	アンプと接続する場合は入力切換を確認してください。	P13
	スピーカは正しく接続されていますか？	
	デジタル接続はアナログに比べて音が小さいときがあります。	P13
	音量ボタン (＋) を押して最大音量 (20) にしてください。	P17
デジタル音声が出力されない	「デジタル出力設定」をご確認ください。	P26
デジタル接続でノイズが発生する	ドルビーデジタル非対応アンプとデジタル接続する場合は「デジタル出力設定」を「PCM」にしてください。	P26
DVD ± R/RW ディスクが再生できない	DVD レコーダーなどで記録する場合は録画したディスクをファイナライズ処理してください。	P09
DVD ビデオを再生できない	視聴制限がかかっている場合は【レベル 8】にしてください。	P31
本機をリセットできない	トレイにディスクが入っている場合はディスクを抜いてください。	P17

■データファイルの再生トラブルとそのおもな原因

症状	おもな原因
MP3/WMA ファイルが再生できない	DRMコピープロテクト（著作権保護）がかかったファイルは再生できません。
	サンプリング周波数が 32kHz、 44.1kHz、 48kHz 以外で記録された MP3 ファイルは再生できません。
	ISO9660 フォーマットに準拠していないディスクは再生できません。
JPEG ファイルが再生できない	DCF 準拠以外のファイルは再生できません。
	ファイルサイズが大きいと読み込みに時間がかかります。

取扱上のご注意

■ディスクのお手入れ

コンパクトディスクの汚れやごみ、キズ、そりなどが雑音の原因になることがあります。次のことにご注意ください。

▲ディスクの端を持ちます

- ●ディスクをケースから取り出す場合は演奏面にキズを付けないようにディスクの端を持ってください。
- ●ディスクを折り曲げないようにしてください。
- ●従来のレコード盤に使用されているレコードクリーナーやスプレーおよび静電気防止剤は使用できません。
- ●コンパクトディスクに指紋等が付いて汚れたときは、水を含ませた柔らかい布で拭いた後、乾いた布で拭いてください。
- ●ディスクを拭くときは、必ず内側から外側方向に拭いてください。同心円上のキズは雑音になりやすいためです。

▲内側から外側へ向けてふく

▲円周方向のキズは NG です

■ディスクの保管

ディスクはケースに入れて正しく保管してください。
直射日光のあたる場所や暖房器具の近くには置かないでください。
炎天下の車内に放置しないでください。温度の高い場所で保管しないでください。
浴室は加湿器のそばなど、湿気やホコリの多い場所では保管しないでください。

筐体のお手入れについて

やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、石鹸水を少し布につけてふき、あとはからぶきしてください。

ご注意

ベンジンや殺虫剤をかけますと変質や変色の原因になりますのでご使用にならないでください。

免責事項

お客様または第三者が本製品の誤使用または使用中に生じた故障、またその他の不具合等を含め、本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
本機は一般家庭用機器として製造された商品です。一般家庭用以外（飲食店等での長時間再生、車両や船舶への搭載使用）でご使用し故障が発生した場合は保証期間内でも有償修理を承ります。

おもな仕様

■電源部
電源電圧………AC100V、50Hz/60Hz
消費電力……………………………15W
待機時消費電力……………………2W
動作温度………………摂氏5℃～35℃

■音声特性
DAコンバーター…………………24ビット
S/N比…………………………80dB以上
音声出力レベル…………………1.5Vrms

■映像特性
映像方式……………NTSC/PAL/AUTO
出力信号………………1.0Vp-p(75Ω)

■音声再生フォーマット
・ドルビーデジタル
・PCM
・MP3
・WMA

■映像再生フォーマット
・MPEG1(VCD)
・MPEG2(DVD)
・MPEG4

■音声出力端子
・光デジタル端子(1)
・同軸デジタル端子(1)
・アナログRCA端子(2)

■映像出力端子
・コンポジット映像端子(1)
・コンポーネント映像端子(1)
・S映像端子(1)
・D1/D2映像端子(1)

■再生可能ディスク
・DVD-Video(DVDビデオ)
・VCD(ビデオCD)
・DVCD(ダブルビデオCD)
・SVCD(スーパービデオCD)
・ピクチャーCD
・DVD-RW
・DVD-R
・＋RW
・＋R
・CD-Audio(CD-DA)
・CD-R
・CD-RW

■本体外形寸法/質量
外形寸法……幅250×高46×奥254mm
質量…………………………………1550g

■赤外線ワイヤレスリモートコントローラ
外形寸法………幅55×高125×厚10mm
質量………………………40g(乾電池除く)
使用電池………………CR2025(ボタン型)

■セット内容
・本体(1)
・リモコン(1)
・AVケーブル(1)
・取扱説明書(1)

★仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合がございます。
★この取扱説明書に描かれているイラストや画面表示などは説明を分かりやすくするために省略している箇所がありますので実際とは異なります。

保証とアフターサービス

保証書はこの取扱説明書に付属していますので、 必ず［販売店］や［ご購入日］などの記載を確かめ、 保証内容などをよくお読みください。 保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

修理を依頼されるときは

まず本書にしたがってもう一度操作していただき、 直らないときに次の処置をしてください。
症状はできるだけ詳しくお知らせください。

保証期間中

・保証書の規定に従い、 お買い上げの販売店か弊社が修理させていただきます。

・製品に保証書を添えてご送付ください。

保証期間が過ぎているとき

・お買い上げの販売店にご相談ください。

・修理によって使用できる製品につきましてはご希望により有料で修理させていただきます。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分にいたしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。
夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。
窓を閉めたり、 ヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。
お互いに気を配り、 快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです

愛情点検　長年ご使用の AV 機器の点検を！

こんな症状はございませんか？
●電源コードや電源プラグが異常に熱い。
●電源コードやプラグにヒビが入っている。
●電気が入ったり切れたりする。
●異常な音や臭い、 発熱がある。
●その他の異常や故障、 不具合がある。

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
必ず電器店に点検をご依頼ください。 費用等も併せてご相談ください。

製品保証書

本書はお買い上げ日から下記期間中、 故障が発生した場合には本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。 This warranty valid only in Japan.

保証規定

1) 取扱説明書に従った正常な使用で故障した場合にはお買い上げの販売店が無料修理いたします。
2) 無償修理をご依頼になる場合には、 製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご相談ください。
3) 製品保証書は再発行いたしません。
4) 本書は日本国内においてのみ有効です。
5) 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
　i) 製品保証書のご提示がない場合。
　ii) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
　iii) 製品保証書にお客さまのお名前、 お買い上げ店名印、 お買い上げ日の記載がない場合。
　iv) 製品保証書の字句を書き換えられた場合。
　v) お買い上げ後の輸送、 移動時の落下などによる故障および損傷。
　vi) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、 塩害、 異常電圧などによる損傷および故障。
　vii) 車両や船舶等に搭載された場合に生ずる損傷および故障。
　viii) 業務用など一般家庭以外の用途で使用された場合に生じた損傷および故障。

機 種 名	
保証期間	お買い上げ日から **本体 1 年間**
ご購入日	
お 客 様	
販 売 店	

フジ電器出版合同会社

http://fujidensha.com